

丸山湿原群保全の会会報

(第 225 号)

発行日：2026 年 (R8) 5 月 20 日 編集／発行：丸山湿原群保全の会
〒669-1211 宝塚市大原野字炭屋 1-1 西谷地区まちづくり協議会事務局内

TEL/Fax0797-91-1788

090 - 1895 - 8061 (今住)

E-mail:maruyamashitugengun@gmail.com



戦争は最大の環境破壊と、差別を生み出します

4月の発行ができませんでした。「なんで今月は『丸山湿原群保全の会会報』がないんや？いま流行りの『目詰まり』でも起こしてるんか？」「楽しみにしてるのに」という声は聞こえてきませんでしたけど…。

実は前回の会報に書いた、「私のいちばんの心配は『坐骨神経痛』。決して戦争の心配はしていません。『激痛』に耐え『痛み止め』を飲み、日々をヒヤヒヤと過ごしています。人間とはやはり小さく身勝手なものです。」のヒヤヒヤがドンピシャ！倒れました。しかも田んぼで。妻と友人をスマホで呼び、激痛の中ブルーシートに乗せられあぜ道を車までそり遊び。車に押し込まれ、救急外来へ。座薬を処置され、なんと「帰りなさい」。家には帰るも痛み止めが全く効かず。電話で「#7119」に相談後、今度は救急車で搬送。12日間の入院となりました。(一人作業の時は必ずスマホを持ちましょう！命拾いました。死んでいなかったとは思いますが、家族と友人に感謝しています。)

4月初めからの12日間は「春」という季節を失った感じがします。「コバノミツバツツジ」「ソメイヨシノ」はほぼ見る事ができず。田んぼの準備も遅れ、今年は無理かも…いや、一生無理かも、と考えてしまいました。そんな中多くの人から「田んぼ手伝うで」「ただし手仕事やけど」「トラクターぐらいやったらやるで」とお声掛けいただきました。ありがたいことです。私を心配してくれたのか、田んぼ(米や植物)を心配してくれたのかよく分からない部分もあるのですが…。人の繋がりは大切にしたいものです。もちろん体がいちばん大事！とりあえずは元気になりました。ただし薬漬け。いややわ～。

「会報のエッセイ化(私物化?)」とはいえ、あまりにも個人的なこと、失礼いたしました。(今住 5月18日作成)

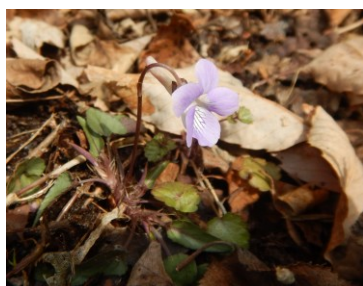
定期活動 ★3月22日(日) ササ刈り 春の気配はありますが曇天… 8名で作業

年度最後の活動。私、まだ入院前。駐車場で「神経痛談義」。皆さん気をつけて無理をしないように、とお互いに労わり合います。刈払い機や鎌をそれぞれ持ち、いざ第1湿原へ！

湿原内の刈り取りは一応終了しています。「森林組合」が実施してくれた林の縁のササ刈りを行いました。3月も下旬、さすがに春の雰囲気



歩道際のササも整理



ナガバタチツボスミレ

あちこちにありました。ナガバタチツボスミレ(長葉立坪堇)やウメバチソウ(梅鉢草)の新芽?(葉)もすでに。「秋に咲くのに大変やな」といつも勝手に思っています。

ササもある程度目処がつき、林床に明るい光が入るようになりました。どんなものが生えて



ウメバチソウの赤ちゃん

くるか楽しみです。シカも楽しみにしているかも。ササの新芽も好きですが…。こんなんびりしたことを言っていると怒られそうです。言える状況はまだありがたい。

定期活動 ★4月11日(土) 基礎調査 なんと! 幻の第5湿原へ 7名

目的	市内	市外	場所	時間	気温【水温】	電気伝導 (EC)	PH
丸山	24	27	入口	—	—		
ハイキング・登山	50	70	第3湿原	10:30	20.7【19.7】	32.0 μ S/cm	6.0
散歩	9	4	視点場	10:40	20.9【22.7】	28.1 μ S/cm	5.2
			第1湿原	10:50	20.1【22.6】	29.7 μ S/cm	5.9
			第2湿原	11:02	19.9【21.3】	31.7 μ S/cm	6.1

来場者数計 184人
(竹筒ポスト集計)

入院中。活動は通常に行われ季節は進みます。春爛漫。コバノミツバツツジ(小葉の三葉躑躅)が咲き、木々の新芽がまぶしい。タカノツメ(鷹の爪)の葉が展開、ツツジのピンクと相まって美しい。気温も20度を超え、少し動くと汗ばむようです。アカハライモリ(赤腹井守)も何やら活発に動き出したようです。



イモリが活発に

と言われていました。中央下手には大きな深掘れも。

湿原らしきところによろやくたどり着くと、やはり荒れ放題。しかし山林化はしておらず(土壌が発達しない?)、はげ山に草が生えている感じです。山側からの水のしみ出しはあり、イノシシ(猪)のヌタ場も。ショウジョウバカマ(猩々袴)は咲いていました。何かないかと探索する人、大鋏や鎌で枯れ草を刈



第5湿原 セトウチサンショウウオの卵囊

常勤の仕事をしている間はなかなか参加が大変だったので。

「湿原」としての完全復活は無理としても、草刈りなどの整備を意識することは必要かも?と今回の内容を聞いて思いました。

基礎調査を終え「さてひと息」と思っていると、誰が言ったか「第5湿原に久しぶりに行ってみ~ひん?」。茨に覆われ今や「終わった湿原」とまで言われています。(私が勝手に言っているのか?)ただ、最近入会された方は行ったことのない場所。興味が勝ったのか、いざ第5湿原へ!最も面積が小さく、天然記念物申請当初から「復元は無理では



言葉はいらない... いい!



ヌタ場には水が...

ながら。(参加してないのによく書けると感心します。相当盛っています。ご容赦を。)

その時「セトウチサンショウウオ(瀬戸内山椒魚)の卵や」との声。「第5湿原」いまだ健在?会が設立された当初には「第5湿原復活プロジェクト」なるものがあつたと記憶しています。その頃私は年に数回しか参加していませんでした。



つつい茅類を見ると大鋏が動く

そして最後の締めは、御殿山マダムの振る舞い。なんと手作りのみたらし団子！人が病院でうなっているときになんちゅうことや！いいな～いいな～。「お見舞いに持ってきてくれたらよかったのに」と、画像が送られてきて悔しい思いをしていました。いじめられてるんやろか？これは果たして報告として必要な画像だったのか…。



いい

定期活動 ★4月26日(日) 駐車場からエントランス歩道際ササ刈り 10名で作業

めでたく退院。またまた駐車場で健康談義とっていると、とっても久しぶりの親子会員が。入会時は小学生だったのが、いつの間にか高校生に。(いや中学生の時も来ていましたが。)その身長にビックリ。2倍になる訳はありませんがイメージは2倍！顔を見るなり「退会の挨拶に来たんですか？」と。失礼なやっちゃ。「いえ入試が終わったので、これから参加を頑張ろうかと」と。申し訳ありません。感激の涙。「ありがとうございます」と坐骨神経痛の足をかばいながら言っていました。ホンマかいな？足はいたって元気です。

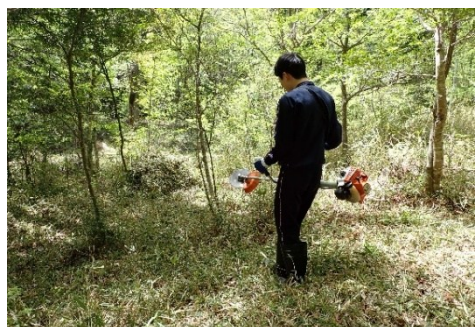


ニョイスミレ

今回の作業は、駐車場から竹筒ポストまでの歩道際ササ刈り。数年刈り取りを行わず、ササが繁茂していました。刈り取りを進めていくと、ササの下からアマドコロ(甘野老)やヒメカンアオイ(姫寒葵)が顔をのぞかせます。

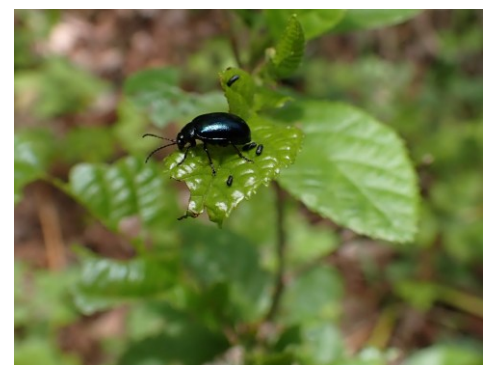


ササの下から登場 変わった色のアマドコロ



Go-go! 高校生

道の下の平場は入口すぐのジュークジュークのところから竹筒ポストの乾いたところまで続く。謎の石積み(小屋の基礎のような…)まで。ツチアケビやギンリョウソウが出たり、トリガタハンショウツル、キンラン、イガタツナミソウ、シソバタツナミソウ、ツクバキンモンソウ。アリマグミ、クマイチゴ、モミジイチゴ。挙げてみると結構すごいところやね。



ハンノキの葉を食べてるからハンノキハムシ



毒がありますタケカレハの幼虫

ナツハゼやカンサイスノキもあります。ガイドの時には入口から「この葉っぱ食べて!」「えっ! 葉っぱ食べる?!」でビビらすことからスタートできます。



この日一番ガンガン働いた人 凄い!

ササの軸で柵ができたツチアケビ新芽
生はまだ大丈夫か?話を戻します。高校生は久しぶりに刈り払い機を肩にかけササに挑む。刈り払

運がよければ、ムカシヤンマやサラヤンマも登場。このレアなトンボは変なところに卵を産みますからね。ピッタリの場所です。オニヤンマもグチョグチョの道に産卵。ただ平場は最近、シカの冬季休憩所になっている疑惑が…。困ったもんだ。一応植生

い機合計 3 台。私も作業しましたがすぐに疲れておさぼり。ガンガンやる人。ポチポチやる人。作業をするふりをして生き物を探している人。多様性やね。誰も怒らない。

ハムシを見つけて種は？毛虫を見つけて蛾？蝶？一応ツチアケビの保護囲いも作成しましょう。踏まれないようにね。去年は株が傷んだのか、花は咲いたが結実に至らず。ポリネーターが来なかっただけなのではないでしょうか？今年はイノシシやシカもよけてくれそうです。

定期活動 ★5月9日(土) 基礎調査 はなみずき保育園親子遠足 会員 9 名 親子 15 名

目的	市内	市外	場所	時間	気温【水温】	電気伝導 (EC)	PH
丸山	11	43	入口	9:30	17.8		
ハイキング・登山	106	120	第3湿原	10:03	19.0【19.7】	31.2 μ S/cm	6.5
散歩	16	16	視点場	10:20	20.0【18.9】	33.7 μ S/cm	6.7
			第1湿原	10:33	19.7【21.5】	43.1 μ S/cm	5.6
			第2湿原	10:39	20.0【20.8】	29.8 μ S/cm	6.3

来場者数計 312 人
(竹筒ポスト集計)

リハビリを兼ねて「親子遠足」をやりませんか？とお声掛けいただきました。実は5月中にガッツリ保育園のガイドを入れていたのですが、自信がなく6月に変更してもらいました。今回はプシの保育園ガイドです。なんと活動日と重なっていることを完全に忘れていました。ガイドを募集した時に活動日との指摘。ガイドの心配なし。基礎調査も大丈夫。倒れても大丈夫？



竹筒ポストからシジュウカラの巣と卵



視点場でバナナタイム

データはバッチリ。やはり「山滴る(やましたたる)」季節、ハイカーも多いようです。

「親子遠足」は基本土曜日。今回は保護者7名、子ども8名。

いつものように大声の練習から。子どもの中に昨年度来た小1生がいて「助けて～」をレクチャーしてくれました。エントランス歩道でカンサイスノキ(関西酢の木)を食べ、ジャングルコースへ。「若葉は美味しい！酸っぱい！」。前回ササ刈りした所から平場に降ります。少し藪漕ぎして冒険の雰囲気。不思議なことにたどり着くのは竹筒ポスト。先行で竹筒を外していた会員が「苔に包まれた小さな卵」をプレゼント。過去にも何回かありましたが、苔で巣を作ってることからシジュウカラ(四十雀)ではない



ウラジロは帽子の前立 素敵

かと。実はもっと産んでいたようですが竹筒を倒すので…。しかしたくさんの苔を集めるものだと感心しました。少し戻って「アスパラガス」を。ちゅうちゅうツチアケビです。ササの軸で保護(柵)をしたのは前回。ところがなぜか赤いテープが。その近くには赤く塗られた木杭が点々と。????柵を作ってくれた方は「私はテープ巻いてません」「杭打ってません」と。????何なんだ。気にはなりつつツチアケビの説明を、そして川へ。サワガニ(沢蟹)にはまだ早いかな？丁寧に石をめくっていきます。小豆ほどのカニをゲット。ウラジロの「天使の羽根」も久しぶりに喜んでくれた。おやつバナナもゲット！なんともう紙面が足りません…。次号には続きませんが楽しかった。さあ園児たち6月にかかってこい！小学生もね！

総会予定 資料作成が遅れています。もうしばらくお待ちを。すみません。

次回活動日 5月24日(日) 愛す会との協働 1日(変更されました) 6月13日(土) 28日(日) 7月11日(土)